

赤いストロボに反応して噛み付こうとしているタイガーシャーク。できれば、このストロボにも黒いテープを巻いておきたい

冬の風物詩

タイガーシャーク ダイブクルーズに挑戦!!

Bahamas

普段、ドルフィンスイムで見慣れたバハマの海。

いつもならイルカと水着でスイミングだが今回はちょっと様子が違う。

みんな頭の先からフィンの先まで真っ黒のウエットスーツ、フィン、マスクで統一、

ストロボにまで黒いテープをグルグル巻き。背中にはタンク。

このスタイルの方が、今では欧米人ダイバーから人気のバハマスタイル。

狙いは、タイガーシャーク超接近遭遇!!

Photo&Text Yohei Miyashita / Takaji Ochi

Text Yohei Miyashita

Design tomato





01

2011年1月、タイガーシャークのノーケージダイビングに挑戦した。

タイガーシャークといえば日本のダイバーからは海のギャングというイメージのため敬遠されがちだが、そのタイガーシャークを餌でわざわざおびき寄せ、そこにノーケージダイビングをするという日本の常識が覆されるダイビングスタイルをレポートする。



02



03

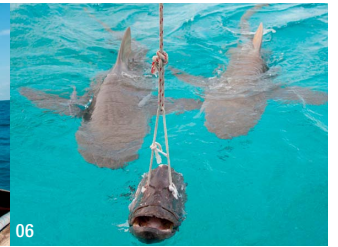


04

- 01/まるで手乗りサメのようなレモンシャーク
- 02/レモンシャークの群れに囲まれる
- 03/船上から吊した巨大ハタの頭を食いちぎる瞬間
- 04/リーフには魚の群れも見られる
- 05/船上で、ベイト用の魚を処理しているところ
- 06/巨大ハタの頭に接近してくるレモンシャークたち



05



06

ダイビングの前に入念なブリーフィングを行う。ブリーフィングではシャークダイビングを安全に行うための注意事項を参加者みんなで確認し合い、エントリー、エキジットの仕方、海底での待機姿勢、サメへのアプローチの仕方などを理解して、さあサメが待つ海へダイビング!!

ダイバー皆さん頭の前からフィン先まで真っ黒け。

この真っ黒スタイルがシャークダイブの必要最低限のスタイル。タイガーシャークはカラフルなものに、興味を持つらしく、とにかく日本出発前に機材を全て黒で統一してくれと連絡を受けていた。

最初のダイビングポイントはタイガービーチと呼ばれる水深5mほどの砂地のポイントだ。停泊するなり、魚肉ミンチの入った大きなタンクに、ホースで海水を流し込み、それをかき混ぜて、排水口のホースから海へと排出を続ける。ボックスに入ったベイト(魚肉)が、船尾から海底に吊るされて、サメを呼び込む体勢はあつという間に整った。そしてにおいを嗅ぎ付けたサメたちがすかさず姿を見せる。タイガービーチと言っ

ても、すぐにタイガーが出現するわけではなく、最初に姿を見せるのは、レモンシャーク。体長は3m。それが多いたときには、100匹近くもやって来るのだ。ダイブデッキのエントリーポイントはすでにレモンシャークだらけ。

サメが背びれを出して泳いでいる海へのエントリーは最初皆が躊躇した。しかし、慣れたガイドが先頭を切ってエントリーすると、皆、勇気を出してジャイアントでエントリー、すかさず海底にタッチダウン。乱れる呼吸を整えつつシャークダイビングが始まった。

海底に着いて辺りを見回すと周囲はレモンシャークで埋め尽くされていた。レモンはタイガーに比べればかなり安全とは聞いているが何十匹ものレモンに囲まれるのは気持ちのいいものではなかった。

しかし、しばらくレモンの撮影をしながら彼らの行動を観察していると、レモンはダイバーの存在は全く気にせず餌の入ったボックスにめがけて突進していた。明らかに視覚ではなくて嗅覚で獲物を探しているようだった。

しばらくレモンの撮影をしているとダイバーの周りを遠巻きにしてゆっくり泳ぐシルエットが見えてきた。タイガーだ、タイガーシャークの登場だ!!

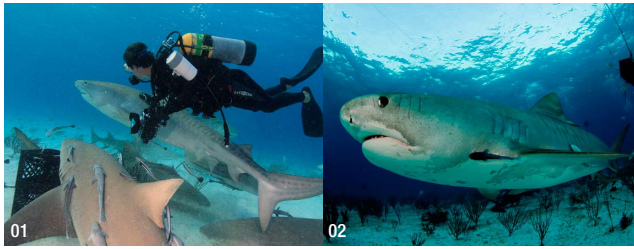
オールブラックス!?

タイガーシャークダイブクルーズに挑戦!!

WEB-LUE 2011. Summer [The Bahamas]

Information Link
<http://takaji-ochi.com/>

関連情報HPへ



- 01/タイガーシャークに自ら触りに行くクルーにはびっくり
- 02/悠然とダイバーの周りを旋回していくタイガーシャーク
- 03/カメラに激突!の瞬間、瞬幕が閉じた
- 04/真っ正面から突っ込んでくるスマイリー
- 05/目を合わせるとすぐに、遠ざかっていく

彼女の名前はスマイリー

ダイバー達に緊張が走りタイガーの接近を待つ。ブリーフィングでタイガーのアプローチの仕方をクルーが教えてくれた。

「タイガーは目を合わせると近づいてこないシャイなヤツだ、近づいてくるまで目を合わせるな!」最初はクルーの言ってる意味がよく分からなかったが実際にタイガーと対峙してしばらくして理解できた。タイガーはレモンと違って嗅覚だけでなく明らかに視覚で獲物を認識しているようだった。ダイバーがタイガーを見つけて直視しているとタイガーは近づいてこない。ダイバーがタイガーから視線をそらしたり気付いていない時だけ背後からゆっくと近づいてくるいやらしいヤツだ。徐々にタイガーは距離をつめダイバーに近寄ってくる。

ブリーフィングの時にクルーが「このポイントにはスマイリーと呼ばれているタイガーシャークがいる」と教えてくれた。

なぜスマイリーなのか? 理由は簡単、彼女(今のところこの海域ではメスの個体しか確認されていない)は右口元を怪我したせいで口を閉じた状態でも口元から歯が見えているのだ。

正面から見ると確かに笑って見える。でも、「笑顔」というには程遠い。何か皮肉を込めた笑いにしか見えない。そんなスマイリーが近づいて来た。いくら見た目笑っているからといっても相手はタイガー。体の側面にはくっきりと浮かび上がる虎模様、明らかに他のサメとは違う存在感があった。彼女はレモンのように餌の箱一直線ではなくダイバー一人一人を大きな黒い瞳で見回してまた見えないところへ去って行った。

明らかに嗅覚ではなく視覚でダイバーを確認していた。ダイバーに興味があるのだ。

またタイガーが近寄ってきたときに彼女達の目を見ているときいきなり黒目が白目になる時がある、こんな時は要注意! この白目に見えるのはサメが獲物に襲いかかるときに自分の眼を保護するための瞬膜と呼ばれるものだ。

つまり「やる気バリバリありますよ自分」って時にこの目をするから注意が必要。



最初のダイビングはかなり緊張したが何本か潜るうちにクルーのブリーフィングをよく聞きルールを守れば安全にレモン、タイガーシャークを観察、撮影できることが理解できた。いままでのサメに対する考えも根本から覆されたダイビングとなった。

タイガーシャークダイブクルーズに挑戦!!

WEB-LUE 2011. Summer [The Bahamas]

Information Link
<http://takaji-ochi.com/>

← 関連情報HPへ



01

01/ボートからエントリーすると、眼下はすでにサメだらけ

02/ポイントのブリーフィングをするキャプテンスコット

03/カリビアンリーフシャークのシルエットが美しい

04/捕食の直前、口を開けようと変な顔になった瞬間を激写

ポイントを変えて次に潜ったのはスコットウォールと名前のついた水深15mの根に面した砂地だった。このポイントで見ることができるサメはカリビアンリーフシャークがメインで、その他にレモン、タイガー、グレートハンマーヘッドシャークなどが見れる可能性がある。

ここでもエントリーと同時に海底にすかさず潜行する、海底にはすでに多数のカリビアンリーフシャークがダイバーを待ち受けている。このポイントは根に面しているため他の魚の観察もできる。

しかし今回の目的はシャークダイビングのためサメの撮影に集中する。カリビアンリーフは流線型のプロポーションが美しいサメだ。このサメもレモンと同じで餌以外には興味を示さないサメでルールに従えば安全なサメである。

このポイントではグレートハンマーヘッドシャークが出るがあると聞いていたので少し広い視野でシャークダイブを開始した。

暫くするとスマアジなどの魚の群れが遠くに見えはじめ、それに向かってダッシュしてい

くと先頭に大きな黒い影が見え始めた。よく目をこらすと先頭にいるのはグレートハンマーヘッドシャークだった。しかしグレートハンマーヘッドは悠然と泳ぎ去り、見ることができたのはこの一度きりだった。これに気がついたのは越智さんと自分だけでちょっと距離があった為、証拠写真程度しか撮れなかった。

カリビアンリーフシャークはレモンやタイガーに比べて動きが俊敏だ。

今回のダイビングスタイルはすべて自己管理型のダイビングスタイルで、ガイドやバディがいるわけではなく自分でア

の残圧をチェックして個々にエキジットをして船上でエアチャージしてもらい水面休息を取って再度エントリーの繰り返しだ。

箱形潜水の為、水深のあるポイントではしっかりと安全停止をしてからの浮上をするのだが、この安全停止がはたからみるとても安全に見えないのが結構笑える。安全停止中の周りはサメだらけ(笑)



02



03



04

初体験のセーフティーストップ



安全停止中の中層もサメだらけ



ベイトのカゴを揺すって、サメをひきつけるクルー

タイガーシャークダイブクルーズに挑戦!!

WEB-LUE 2011. Summer [The Bahamas]

Information Link
<http://takaji-ochi.com/>

関連情報HPへ



ストロボに照らされたカリビアンリーフシャークはちょっと不気味



砂地でほんのりと明るく見えるのがせめてもの救い?



砂地からリーフが上がると、サメの姿も見えにくくなる



レモンシャークは地を這うように、姿を見せ、足下にぶつかって来る

ナイトでシャーク!?

ま たこれだけ餌をまいてサメをおびき出した海でナイトダイビングを行うことにも驚いた。

暗闇からいきなりタイガーシャークが登場なんてこともあり得るのだ。

しかしガイドに言わせるとまだナイトでタイガーには会ったことがないと言っていた。その言葉を信じて真っ暗な海のダイブ!! すぐに水中を見ると全然話が違う! いきなりタイガーが

2匹下にいるではないか(汗)!!

タイガーはすぐに姿を消したが緊張の糸は張り詰めたままダイビング開始。

やはり他のサメも昼間より明らかに動きが鋭くちょっと怖いし、気がついた時にはもう目の前にヤツらがいるのは昼間とは違ったスリルだ。

そんなこんなでとにかく朝から晩までサメ三昧なクルーズとなった。

今 回のシャークダイブクルーズで分かったことだが、相手は野生のサメであることを頭に置き、クルーたちの教えてくれたとおりにルールを守ってサメと接すれば、危険を伴うことなくゆっくりとシャークダイビングできることが分かった。

しかし相手は海のギャング達、絶対に油断は禁物なことは間違いない!!

タイガーシャークダイブクルーズに挑戦!! 

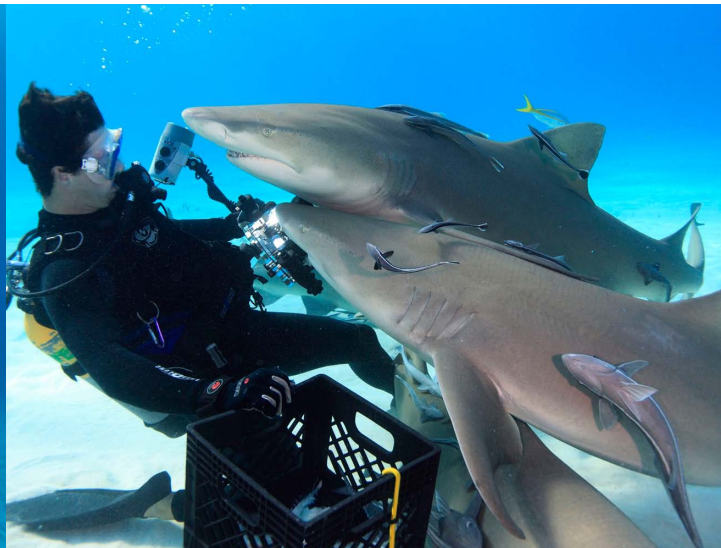
Bahamas
WEB-LUE 2011. Summer [The Bahamas]

Information Link
<http://takaji-ochi.com/>

← 関連情報HPへ



流線型の姿が美しい、カリビアンリーフシャーク



猪突猛進で餌に向かって来るレモンシャークたち

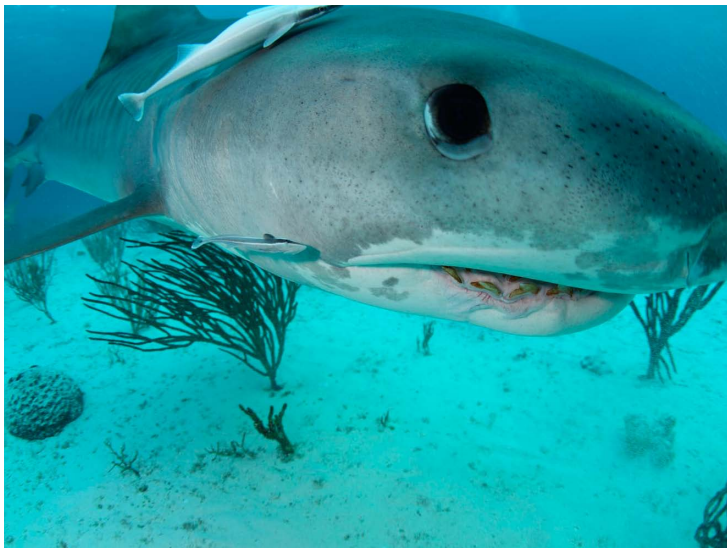


真横から見るタイガーシャークも美しい

第2回

タイガーシャーククルーズ・スペシャルトリップ

カメラに激突してきたタイガー。良く見ると目がかわいい？



2012年1月にタイガーシャーククルーズ・スペシャルトリップを開催します。
期間は2012年1月6日（金）日本発～1月15日（日）日本帰着のスケジュールで対応可能。現地クルーズ乗船期間は、1月7日（土）～1月13日（金）下船。基本的には現地集合現地開催の現地でのみのチャータークルーズトリップになります。
使用する船は、夏の時期にいつもチャーターしてバハマのドルフィンクルーズを開催している Dolphin Dream 号。タイガーシャークダイブクルーズを日本人がチャーターしたのは初めての事だそうです。

現地での日程など、詳細は、お問い合わせ下さい。
info@web-lue.com にメールを頂くか、HPのお問い合わせフォームより「タイガーシャーククルーズへの問い合わせ」と記載して、ご連絡下さい。

【お問い合わせ】
✉hayatine3@yahoo.co.jp
🌐http://takaji-ochi.com/

クルーズ同上者は、WEB-LUE 参加のカメラマンになります。

カリビアンリーフシャークに囲まれる



タイガーシャークダイブクルーズに挑戦!! 
WEB-LUE 2011. Summer [The Bahamas]